

2014年度

# 大学院入学試験要項

## 心理学研究科

実験・応用心理学専攻／臨床・発達心理学専攻



2014  
CHUKYO UNIVERSITY

# 目 次

1 概要および特色・教員組織	1 ページ
2 出願資格	4 ページ
3 選抜方法	5 ページ
4 募集定員・試験日程・試験科目等	6 ページ
5 出願書類	8 ページ
6 出願について	9 ページ
7 学費等	9 ページ
8 キャンパスマップおよび試験会場への交通案内	10 ページ
9 研究内容の紹介	11 ページ

## 巻末書類

志願書	巻末A(一般選抜用)
	巻末B(社会人選抜用)
身元保証書	巻末C

## 同封書類

受験票・写真票・検定料払込票
検定料払込用紙
宛名シール
出願用封筒

身体に機能障害がある場合は、各試験の出願開始日の4週間前までに必ず学事課まで文書にてお申し出ください。受験に際して特別措置を講ずることがあります。  
 なお、障害の状況によっては、就学が不可能な場合もありますので、併せてお問い合わせください。

## 2014年度 中京大学大学院入試日程

### 博士前期(修士)課程

		研究科	願書受付期間	試験日
前期日程	A日程	国際英語学* <sup>1</sup> (国際英語学)	2013年 6月10日(月) ～ 6月21日(金)	7月 5日(金)
		心理学		7月 5日(金)・7月 6日(土)
		経営学		7月 6日(土)
		情報科学		7月 5日(金)・7月 6日(土)
		経済学* <sup>2</sup> (経済学)		7月 6日(土)
	B日程	文学	2013年 9月 2日(月) ～ 9月12日(木)	9月27日(金)
		国際英語学		9月28日(土)
		社会学		
		法学		
		経済学 (総合政策学)		
後期日程	C日程	文学	2014年 1月17日(金) ～ 1月28日(火)	2月12日(水)・2月13日(木)
		国際英語学		2月13日(木)
	D日程	心理学	2014年 1月 8日(水) ～ 1月16日(木)	2月 3日(月)・2月 4日(火)
		社会学		2月28日(金)
		法学		2月21日(金)
		経済学		3月 1日(土)
		経営学		3月 1日(土)
		情報科学		2月24日(月)・2月25日(火)
体育学	2月22日(土)			

### 博士後期課程

		研究科	願書受付期間	試験日
前期日程	A日程	経済学* (経済学)	2013年 6月10日(月) ～ 6月21日(金)	7月 6日(土)
		情報科学		7月 5日(金)
後期日程	B日程	体育学	2013年 9月 2日(月) ～ 9月12日(木)	9月28日(土)
		C日程		文学
心理学	2月 3日(月)・2月 4日(火)			
後期日程	D日程	社会学	2014年 2月 3日(月) ～ 2月14日(金)	2月28日(金)
		法学		2月21日(金)
		経済学		3月 1日(土)
		経営学		
		情報科学		2月24日(月)
		体育学		2月22日(土)

※…経済学専攻A日程は、2013年度秋学期入学希望対象入試

※1…国際英語学専攻A日程は、2013年度秋学期入学希望対象  
 ※2…経済学専攻A日程は、2013年度秋学期入学希望対象入試含む

### 1. 経緯

本学では、1966(昭和41)年4月、文学部に心理学科が開設され、1971(昭和46)年に大学院文学研究科心理学専攻修士課程、1978(昭和53)年に同専攻博士後期課程が置かれて、心理学教育・研究体制が整備されました。そして、2000(平成12)年度の心理学部、2002(平成14)年度の心理学研究科の設置により、新たな展開の段階に入りました。

### 2. 組織

心理学研究科には、「実験・応用心理学」と「臨床・発達心理学」の2専攻があります。それぞれの専攻には、現代心理学の主要な領域である実験・応用・臨床・発達の4系を専攻する専任教員が配置され、さらに兼任講師および兼任講師の協力をも得て、多岐にわたる教育研究活動が行われています。

### 3. 教育理念およびカリキュラム

誕生以来著しい発展を遂げてきた心理学は、現在では多くの領域に分化してそれぞれ固有の課題達成をめざしています。しかしながら、“心理”は複雑であり、その解明には異なる領域間の連携協力が欠かせませんし、それなくして心理学が真の学術的・社会的貢献を果たすことはできません。

本研究科の博士前期課程(修士課程)では、領域横断型の問題を扱う授業科目(研究科共通科目および専攻共通科目)と各領域に特化した授業科目(領域固有科目)の双方を設け、カリキュラム構成をいっそう明確にしました。それによって、学問体系における心理学の位置づけやその特徴など現代心理学の全体像を把握するとともに、領域固有の理論や方法を理解して各自の課題研究を展開できるように指導が行われます。また、博士後期課程では、博士(心理学)学位取得に向けた課題研究指導を通じ、高度の専門性を具えた学術研究を担う人材の養成をめざしています。

本研究科は、明確な問題意識と旺盛な知的探究心をもつ人たちの入学を歓迎します。

### 4. 昼夜開講制

近年、現職者など社会人の大学院入学希望者が増えていますが、それに応じるために博士前期課程(修士課程)に限って社会人を受け入れ、特に有職者の履修を考慮して昼間(第1～5時限)と夜間(第6・7時限:18:20～21:30)の授業時間帯を設ける「昼夜開講制」を実施しています。

ただし、課程修了の要件に加えて臨床心理士などの資格を得ようとする場合には、夜間開講の授業だけで所定の単位を充足することが困難ですから、週のうち少なくとも1日は昼間時間帯の授業に出席して必要な単位を補う必要があります。さらに学外での臨床実習も昼間時間帯に行われ、毎週半日ないし全日をそれに費すことになる場合もあります。これらの点をあらかじめ承知しておいてください。

### 5. 修了要件

博士前期課程(修士課程)を修了するには、所定の単位を修得するとともに修士学位論文を提出して審査に合格することが、また博士後期課程を修了するには、所定の単位を修得するとともに博士学位論文を提出して審査に合格することが、それぞれ要件となります。

### 6. 入学定員および志願状況

入学定員は、博士前期課程(修士課程)が30名、うち実験・応用心理学専攻7名、臨床・発達心理学専攻23名です。なお、各専攻の領域別定員については特に定めませんが、臨床・発達専攻(定員23名)については、臨床領域15名、発達領域8名を目途とします。また、博士後期課程は6名で、両専攻それぞれ3名となっています。

参考までに、最近数年間の入学試験出願者数は、一般選抜と社会人選抜を合わせて毎年ほぼ60名で、全国各地の大学等出身者が受験しています。

## 7. 課程修了後の進路

社会的状況の影響を受けて就職には厳しさがともないますが、過去の課程修了者はそれぞれの専攻に応じて社会の多方面で活躍しています。

なお、本研究科臨床・発達心理学専攻のうち臨床心理学領域は、日本臨床心理士資格認定協会による臨床心理士養成第一種指定を受けています。従って博士前期課程を修了した年に同協会が実施する臨床心理士の資格試験を受けることができます。(専門性が特化されるため、入学後に他専攻・他領域から臨床心理学領域へ所属を変更することはできません。)

また、発達心理学領域では、発達の観点を持って子どもから大人までの支援に取り組む「臨床発達心理士」資格の取得に必要な指定科目の一部を提供しています。これらの単位のほかに、学外で認定講座を受講し単位を補充することにより、「臨床発達心理士」資格の取得を目指すことができます。

## 8. 施設・設備

心理学部・心理学研究科は、名古屋市内の交通至便の地にあり、都市型キャンパスに位置しています。大学院生には共同研究室、研修室、講義室、演習室、実験室・検査室、資料室・資料解析室が設けられているほか、附属図書館や情報処理センターなど全学施設も利用できます。

本学は、よりよい教育研究のため、「教育研究上の目的に関する規程」を作成し、その中で、各研究科の「人材の養成に関する目的」を明記しています。

### ●心理学研究科の「人材の養成に関する目的」

- (1) 実験・応用心理学専攻博士前期課程は、基本的心理過程に関する学識を有し、その応用により快適で安全な人間環境系の設計に寄与する学術研究者あるいは専門実務者の養成を目的とする。基礎領域では、実験・測定・解析など基礎と応用を繋ぐ多様な方法に精通した人材を養成し、応用領域では、基礎研究の成果を踏まえ、現実的諸問題の解決を可能にする心理技術を修得し、社会的要請に応じて専門の実務に従事する人材を養成する。
- (2) 実験・応用心理学専攻博士後期課程は、人間の基本的な心理過程を解明するとともに、その応用によって快適で安全な人間環境系の設計に寄与する学術研究・教育者あるいは高度専門実務者の養成を目的とする。基礎領域では、人間の基本的心理過程を解明する先端的研究を推進する人材を養成し、応用領域では、現実的諸問題の解決を可能にするための心理技術の高度化を行うとともに、社会的要請に応じて諸問題を解決する人材を養成する。
- (3) 臨床・発達心理学専攻博士前期課程は、心理学全般にわたる広い学識を有し、適応事象の基本を身につけた専門の実務者あるいは学術研究者を養成する。臨床心理学領域では、心理的適応の困難な個人または集団に対し適切な援助を行う専門の実務者を養成し、発達心理学領域では、重要な発達研究法である観察を駆使した社会的行動の発達過程の追跡・分析を通して、現実事態における諸問題に対して適切な提言を行う実務者を養成する。
- (4) 臨床・発達心理学専攻博士後期課程は、人間全般にわたる広い学識を有し、適応過程を解明するとともに、適切な援助を与えることのできる高度専門の実務者あるいは学術研究・教育者を養成する。臨床心理領域では、適応、人格、心理査定などに関する基礎的研究、臨床事象に関する研究に従事するとともに、適切な心理臨床を行う人材を養成し、発達心理学領域では、人間の生涯にわたる発達を体系的に解明するとともに、発達の諸問題に対して適切な提言を行う人材を養成する。

【専任教員】

担当領域	職	氏 名	主要研究テーマ
実験心理学	教授	牧 野 義 隆	記憶の情報処理
〃	〃	鬢 櫛 一 夫	視覚のメカニズム
〃	〃	河 原 純一郎	認知心理学、注意、ストレス、対人認知
応用心理学	教授	向 井 希 宏	産業心理、技能習熟
〃	〃	尾 入 正 哲	環境心理学、組織と安全
〃	講師	松 本 友一郎	組織心理学、職場の人間関係
臨床心理学	教授	坂 井 誠 *	行動療法、認知行動療法
〃	〃	永 田 法 子 *	学校教育臨床、心理療法
〃	〃	神 谷 栄 治 *	心理アセスメント、心理面接
〃	〃	馬 場 史 津 *	心理アセスメント、心理療法
〃	講師	明 翫 光 宜 *	発達障害、心理アセスメント、心理療法
発達心理学	教授	鯨 岡 峻	発達心理、家族発達心理
〃	〃	水 野 里 恵	発達心理学、気質、パーソナリティ
〃	〃	小 島 康 生	家族発達行動学

\*は、臨床心理士有資格者

●上記は、2013年5月現在の教員組織です。

【兼任教員】

担当領域	職	氏 名	担当授業科目
共 通	講師	鋤 柄 増 根	心理統計法1・2
〃	〃	杉 浦 淳 吉	社会心理学特論
応用心理学	〃	岸 田 孝 弥	応用心理学特論
臨床心理学	〃	外ノ池 隆 史	臨床精神医学特論
〃	〃	徳 田 仁 子	心理療法特論A
〃	〃	古 井 景	児童精神医学特論
〃	〃	嶋 崎 まゆみ	行動心理学特論
発達心理学	〃	森 口 佑 介	発達心理学特論 A1



# 2 出願資格

## 博士前期課程(修士課程)

次の①～⑩のいずれかに該当する者

- ①学校教育法第83条に定める大学を卒業した者および2014年3月卒業見込みの者
- ②学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者および2014年3月までに授与される見込みの者
- ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2014年3月までに修了見込みの者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2014年3月までに修了見込みの者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2014年3月までに修了見込みの者
- ⑥専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2014年3月までに修了見込みの者
- ⑦文部科学大臣の指定した者
- ⑧大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科委員会において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑨本研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達した者
- ⑩その他本研究科委員会において、学校教育法第83条に定める大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※出願資格⑧～⑩による出願を希望する(本研究科委員会において出願資格を審査する必要がある)場合は、出願開始日の4週間前までに下記事務室までお問い合わせください。

対象者…飛び級による出願希望者

外国における3年制大学の卒業者

短期大学、高等専門学校、専修学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等

## 博士後期課程

次の①～⑦のいずれかに該当する者

- ①修士の学位または文部科学大臣の定める学位を有する者および2014年3月までに取得見込みの者
- ②外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2014年3月までに授与される見込みの者
- ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2014年3月までに授与される見込みの者
- ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2014年3月までに授与される見込みの者
- ⑤文部科学大臣の指定した者
- ⑥本研究科委員会において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に24歳に達した者
- ⑦その他本研究科委員会において、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

※なお、出願資格⑥～⑦による出願を希望する(本研究科委員会において出願資格を審査する必要がある)場合は、出願開始日の4週間前までに下記事務室までお問い合わせください。

### 博士前期課程(修士課程)

選抜には一般選抜と社会人選抜(特別選抜)の二つがあります。ただし、前期日程において、同一人がその両方を併願することはできません。

①一般選抜: 社会人選抜以外の志願者については、すべて一般選抜となります。

②社会人選抜: 入学時において、大学卒業後7年以上経過した志願者が対象となります。職歴の有無やその内容は問いません。

なお、入学後に他専攻・他領域から臨床心理学領域へ所属を変更することはできません。

### 博士後期課程

博士後期課程の場合、社会人選抜は行いません。

## お問い合わせ先

心理学部事務室 TEL (052) 835-7160

平日 9:00~16:00

土曜日 9:00~12:00 (事務室を閉鎖している場合があります)

外国人留学生は、上記の他に次の条件を満たす必要があります。

出入国管理および難民認定法に定める在留資格「留学」に該当する者、および経過措置としての在留資格「就学」などを有する者。

※外国人留学生として国外から出願される場合は、出願期間以前の受け付けも可能です。

# 3 選抜方法

**合否判定** 選抜にあたっては、次の資料を総合して合否を判定します。

### 一般選抜

- ①筆記試験…専門書（外国語）、心理学
- ②口述試問
- ②論文（卒業論文・修士論文・研究計画・その他）、またはそれに代わる研究成果
- ③出身大学（学部・大学院）の成績証明書

### 社会人選抜

- ①筆記試験…外国語（英語）、小論文
- ②口述試問
- ②論文（卒業論文・修士論文・研究計画・その他）、またはそれに代わる研究成果（該当するものがなくても構いません）
- ③出身大学（学部・大学院）の成績証明書

# 4 募集定員・試験日程・試験科目等

## 博士前期課程(修士課程)

入学定員	30名	(実験・応用心理学専攻 7名) (臨床・発達心理学専攻 23名)
出願期間	前期日程	一般選抜 2013年 6月10日(月)～ 6月21日(金) 郵送必着 社会人選抜
	後期日程	一般選抜 2014年 1月 8日(水)～ 1月16日(木)
試験期日	前期日程	一般選抜 2013年 7月 5日(金)・ 6日(土) 社会人選抜
	後期日程	一般選抜 2014年 2月 3日(月)・ 4日(火)
集合場所 集合時刻	前期日程	名古屋キャンパス 3号館別館5階 大学院研修室 9時30分集合
	後期日程	名古屋キャンパス 3号館別館5階 大学院研修室 9時30分集合
試験日程	一般選抜	第1日 10:00～12:00 筆記試験(外国語)
		13:30～15:30 筆記試験/心理学
		第2日 10:00～ 口述試験
		第1日 10:00～12:00 筆記試験/外国語(英語)
	社会人選抜	13:30～15:30 筆記試験/小論文
		第2日 10:00～ 口述試験
試験科目	一般選抜	①筆記試験(外国語):心理学外国語文献の読解力 英語・ドイツ語・フランス語のうち1か国語を選択してください。辞書(電子辞書を除く英和・独和・仏和辞典)を使用できます。
		②筆記試験/心理学:研究科共通問題と領域固有問題とから構成されます。 前者は心理学全般にわたる基本的学識、後者は各専門領域に特化した基礎的学識をみるものです。
		③口述試問:志望領域への関心と学識、入学後の研究計画などについて、志望領域の教員が中心になって試問を行います。
	社会人選抜	①筆記試験/外国語(英語):英語文献の読解力をみるものです。辞書(電子辞書を除く英和辞典)を使用できます。
		②筆記試験/小論文:志望領域に関する課題について論述能力をみるためのものです。
		③口述試問:志望領域への関心と学識、入学後の研究計画などについて、志望領域の教員が中心になって試問を行います。
合否発表	合格・不合格いずれの場合も通知書を郵送します。掲示による発表は行いません。なお、前期日程・後期日程それぞれの受験者に対する合否通知書の発送日は次のとおりです。	
	前期日程	一般選抜 2013年 7月12日(金) 社会人選抜
	後期日程	一般選抜 2014年 2月18日(火)



入学手続 締切日	〔前期日程〕 第一次入学手続（入学金の納入のみ） 2013年 7月19日(金) 最終入学手続（授業料等の納入および書類送付） 2014年 3月14日(金) 郵送必着
	〔後期日程〕 入学手続（入学金・授業料等の納入および書類送付） 2014年 2月25日(火) 郵送必着
入学辞退 締切日	2014年 3月29日(土)

## 博士後期課程

入学定員	6名 (実験・応用心理学専攻 3名) (臨床・発達心理学専攻 3名)											
出願期間	2014年 1月 8日(水)～ 1月16日(木) 郵送必着											
試験期日	2014年 2月 3日(月)・ 4日(火)											
集合場所 集合時刻	名古屋キャンパス 3号館別館5階 大学院研修室 9時30分集合											
試験日程	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">一般選抜</td> <td>第1日</td> <td>10:00～12:00</td> <td>専門書（英語）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13:30～15:30</td> <td>課題論述</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2日</td> <td>10:00～</td> <td>口述試験</td> </tr> </table>	一般選抜	第1日	10:00～12:00	専門書（英語）		13:30～15:30	課題論述		第2日	10:00～	口述試験
一般選抜	第1日		10:00～12:00	専門書（英語）								
		13:30～15:30	課題論述									
	第2日	10:00～	口述試験									
試験科目	<p>①専門書(英語)：課題研究を行うに必要な専門書（英語）の読解力をみるものです。辞書（電子辞書を除く英和辞典）を使用できます。</p> <p>②課題論述：心理学的問題を総括的に論じる力量を評価するものです。</p> <p>③口述試問：自身の研究課題に即して今後の展開を中心に試問を行います。</p>											
合否発表	合格・不合格いずれの場合も通知書を郵送します。掲示による発表は行いません。 なお、合否通知書の発送日は次のとおりです。 2014年 2月18日(火)											
入学手続 締切日	入学手続（入学金・授業料等の納入および書類送付） 2014年 2月25日(火) 郵送必着											
入学辞退 締切日	2014年 3月29日(土)											

# 5

## 出願書類

※記入は黒色のボールペンで記入し、証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。(開封したものは無効)

受 写 検 定 料 払 込 票	<p>①写真(正面上半身脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影)の裏面に氏名を記入し、貼付してください。</p> <p>②検定料については、9ページ「2.検定料」を参照の上、払込手続を行い振替払込受付証明書(願書貼付用)を貼付してください。</p>
--------------------------------------	--

志 願 書	<p>①所定の用紙を使用してください。 博士前期課程(修士課程)の一般選抜および博士後期課程 →巻末A 博士前期課程(修士課程)の社会人選抜 →巻末B</p> <p>②入学後の研究計画については、博士前期課程(修士課程)志願者のみ記述してください。</p>
-------------	--

証 明 書 の 他	博士前期(修士)課程	卒業証明書 成績証明書 (見込みを含む)	<p>最終出身大学作成のものを提出してください。 ※大学院を修了した者および修了見込みの者は、その学位授与証明書および成績証明書も併せて提出してください。</p>
		論 文	<p>①卒業論文、あるいはこれに代わる論文(必要に応じて図や表を含めてよい)。提出論文はコピーとし、返却はしません。なお、提出論文には1,500字程度の要約(別紙にて提出)を付けてください。ただし、前期日程の志願者のうち、2014年3月卒業見込みで、卒業論文未完の者は、その論文の概要(2,000字以上)を提出してください。卒業論文を作成していない場合はその旨を記入してください。</p> <p>②社会人選抜志願者は論文提出の必要はありませんが、参考資料として卒業論文または大学卒業後に書いた論文等があれば提出してください。提出論文はコピーとし、返却はしません。</p>
		出 願 理 由 書	<p>①社会人選抜のみ提出 ②A4判用紙、書式自由、1,500字程度</p>

	博士後期課程	卒業証明書 成績証明書 (見込みを含む)	<p>最終出身大学院作成のものを提出してください。</p>
		論 文	<p>①修士論文またはこれに代わる業績。 ②学術雑誌・紀要・学会発表論文集等に掲載された業績。 ③上記の業績目録。(別紙にて提出。内容の記入も必要) ※いずれもそのコピーで可。返却はしません。</p>
		研 究 計 画 書	<p>博士後期課程における研究計画について記載した書類、書式自由、4,000字程度とします。</p>

宛 名 シ ール	<p>合否通知書発送に使用します。</p>
-------------------	-----------------------

\*証明書等の氏名と現在の氏名が異なる出願者は、氏名の変更を証明できる書類(戸籍抄本等)も併せて提出してください。

- 外国人留学生は、上記の他に次の書類も提出してください。
- ①外国人登録証明書の写しまたは外国人登録原票記載事項証明書(在留資格およびその期間が確認できるもの)
  - ②身元保証書(保証人が自筆で署名し、捺印したもの) →巻末D  
※保証人は日本に居住し、独立して生計を営んでいる者で、在留期間中の本人に関するすべての事項について保証できる者とします。

個人情報取り扱いについて

①志願書等に記入された住所・氏名・その他個人情報については、合否結果通知および合格者・入学手続者への各種案内の発送に利用します。

②大学が業務を委託した会社に、個人情報の全部または一部を提供しますが、目的以外の用途に使用することはありません。あらかじめご了承ください。

# 6 出願について

## 1. 出願方法

- ① 出願にあたっては、郵送必着とします。
- ② 所定の封筒が同封してありますので、必要事項を記入の上、「簡易書留速達」で送付してください。
- ③ 論文等が大きく所定の封筒に入らない場合は、所定の封筒の表面を切り取り、送付する封筒に貼付してください。  
(送付先) 〒466-8666  
名古屋市昭区和八事本町101-2 中京大学 学事課  
※「簡易書留速達」で送付のこと

## 2. 検定料

- ① 検定料 35,000円
- ② 検定料の納入はゆうちょ銀行または郵便局での振替に限ります。(現金、為替、銀行振込等は受け付けできません。) 所定の払込用紙に必要事項を記入し、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局で手続きをしてください。(機械による払込不可)
- ③ 検定料納入手続後、各票の日附印を確認の上、**振替払込受付証明書(願書貼付用)**を**検定料払込票**の所定の欄に貼付してください。
- ④ 振替払込請求書兼受領証は、大学発行の領収書とみなしますので大切に保管してください。

## 3. 注意

- ① 試験当日は、試験開始30分前までに名古屋キャンパス 3号館別館5階大学院研修室に集合してください。
- ② 受験票は必ず持参してください。
- ③ 試験中使用してよい携帯品は、万年筆、鉛筆、シャープペン、ボールペン、消しゴム、時計、英和・独和・仏和辞典(外国語の試験時のみ)に限定します。

## 4. その他

- ① 出願後は、書類の変更および検定料の払い戻しはできません。
- ② 受験票は願書受付終了後、随時郵送します。
- ③ 受験票が試験日の3日前までに届かない場合は、下記へ連絡してください。  
中京大学 心理学部事務室 TEL(052)835-7160
- ④ 合格者の入学手続き書類は、合格通知書とともに送付します。
- ⑤ 有職者については、入学時に人事部長または所属長の大学院通学承諾書を提出していただきます。  
※博士前期課程(修士課程)のみ
- ⑥ 研究内容・指導教員等についての問い合わせ先  
中京大学 心理学部事務室 FAX (052) 835-7144  
E-mail gakuji-center@mng.chukyo-u.ac.jp

※住所・氏名・電話番号・志望研究科名を明記の上、FAX または E-mail でお問い合わせください。

# 7 学費等

※この学費は2013年度入学生のもので、2014年度入学生の場合は、事情により改定することがあります。

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	年額計	入学時納付金
博士前期課程 (修士課程)	200,000	440,000	220,000	30,000	890,000	545,000
博士後期課程	200,000	400,000	170,000	30,000	800,000	500,000

- (注) 1. 博士前期課程(修士課程)の2年次納付金は、1年次と同額です。  
2. 博士後期課程の2年次および3年次の納付金は、1年次と同額です。  
3. 「入学金」は入学時のみ納入、「授業料、教育充実費および実験実習費」は春学期・秋学期の2回に分けて納入していただきます。ただし、入学時の春学期分については、入学時納付金に含まれます。  
4. 中京大学卒業の博士前期課程(修士課程)入学者は、入学金が20,000円、および教育充実費は入学時の1年次春学期分のみ半額です。  
5. 本学博士前期課程(修士課程)から同一の研究科の博士後期課程への進学者は、入学金を免除します。  
6. 入学後、いくつかの特定科目の履修に際して別途履修費および実習費を徴収することがあります。  
7. 学費は「学則」の改定にともない在学中に変更することがあります。  
8. 2014年度入学の外国人留学生は、学費のうち「授業料」について3割減免措置を、博士前期課程(修士課程)に対しては入学後2年間、博士後期課程に対しては入学後3年間の各期間適用いたします。  
9. 入学時納付金のうち、入学金を除くその他の納付金につきましては、入学辞退締切日までに入学辞退手続きをした場合、返金いたしません。





# 9

## 研究内容の紹介

### 【実験・応用心理学専攻】

専攻領域	教員名	研究内容
実験心理学	まき の よし たか 牧 野 義 隆	認知心理学を専攻。人間の記憶情報処理過程を研究。記憶は情報保存機能と課題遂行時の制御機能とをもつが、このうち後者の重点的検討をめざし、意図的な制御機能を果たすと考えられる作動記憶（短期記憶）と、自動的な制御機能を果たすと考えられる潜在記憶（意味記憶・手続記憶など）を主要なテーマとして研究に取り組んでいる。
	びん くし かす お 鬢 櫛 一 夫	知覚心理学を専攻。両眼立体視、仮現運動および視野闘争について、対応問題という共通の問題構造をモデル化し、実験方法として共通に累積消失時間を測定することで、これらを効率的に検討している。視野闘争において従来考えられてこなかった刺激全体の大きさが対応づけられて視野闘争を起こしていることを示し、これに基づき両眼単一視については両眼対応と単眼系との相互作用を仮定し、両眼単一視に対する新たな理論化を試みている。
	かわ はら じゅんいちろう 河 原 純一郎	専門は認知科学。見落としはなぜ起こるか。集中／記憶力の個人差は何に由来するのか。ストレスは認知機能にどんな影響を及ぼすか。認知心理学の中心概念である注意と自己制御に焦点をあて、心理実験からこれらの問題に取り組む。研究室では専門知識の獲得だけでなく、広く通用する問題解決能力を備えた人材の育成をめざす。
応用心理学	むか い まれ ひろ 向 井 希 宏	産業心理学を専攻。技能習熟プロセスの解明を行い、動作時間分析法にもとづく詳細な作業行動分析によって、作業者の行動特性、作業への適応過程、動作錯誤の発生メカニズム、効果的な教示方法の検討などを進めるほか、最近では高齢者の作業特性・高齢ドライバーの運転行動特性の把握へと研究を展開している。
	お いり まさ あき 尾 入 正 哲	産業心理学を専攻。特にヒューマンエラー、作業環境の快適性、職場のメンタルヘルスなどに関する実験・調査を行っている。また、リスクテイキング行動、安全文化、環境配慮行動といった、安全と環境に関わる個人差や組織・社会的要因にも注目している。
	まつ もと ともしちろう 松 本 友一郎	組織心理学を専攻。組織における対人ストレスについて研究している。また、対人ストレスそのものだけではなく、職場に存在する他の問題との関連を検討している。たとえば、対人ストレスによって仕事の失敗が増えることはないのか、もしあるとすれば、どのような対人ストレスによってどのような失敗が増えるのか、ということにも関心がある。主に質問紙調査、面接調査、研修を実施している。



【臨床・発達心理学専攻】

専攻領域	教員名	研究内容
臨床心理学	<p>さか 井 まこと 坂 井 誠</p>	<p>これまで病院臨床に従事してきた関係で、パニック障害や強迫性障害などの不安障害に対する行動療法・認知行動療法を専門としている。また最近、学校領域、産業領域におけるストレスの問題に興味があり、自律訓練法や社会的スキル訓練などを援用したストレス・マネジメントを研究している。</p>
	<p>なが た のり こ 永 田 法 子</p>	<p>本学着任前は病院臨床に従事し、幼児から成人までを対象として臨床実践を行ってきた。関心の中心は、幼児、児童から青年期の人たちとその家族の問題であり、スクールカウンセラーとしても活動している。ユング心理学を基盤としたイメージ表現や箱庭療法、遊戯療法なども取り組み、臨床場面における関係性に主眼をおいた研究・実践を行っている。</p>
	<p>かみ や えい じ 神 谷 栄 治</p>	<p>心理アセスメント、心理療法面接、心理的支援を実践・研究してきた。アセスメントについては、疾病分類にとどまらない総合的見立てや、パーソナリティ構造の検討を行ってきた。心理療法面接は、力動的立場から、幼児から成人、健常者から重篤なケースへの対応を検討してきた。支援は、犯罪被害者の支援について活動している。</p>
	<p>ば ば し づ 馬 場 史 津</p>	<p>臨床活動の中心は精神科・心療内科などの病院で、主に成人を対象とした心理療法、心理査定に携わってきた。心理療法は力動的な観点から実践しており、心理査定はロールシャッハ・テストおよび描画テストが専門である。特に母子画は、数量的研究に基づく解釈仮説の検討や、臨床群の描画特徴を研究している。</p>
	<p>みょう がん みつ のり 明 彦 光 宜</p>	<p>臨床心理学的援助として自閉症スペクトラム障害の発達支援および家族支援を行ってきた。心理アセスメントでは投映法に関心があり、ロールシャッハ・テストを発達障害の心理アセスメントに活かす研究に取り組んできた。最近では発達障害を対象にした怒り・不安のコントロールプログラムの開発やその介入研究にも取り組んでいる。</p>
発達心理学	<p>くじら おか たかし 鯨 岡 峻</p>	<p>発達心理学を専攻。人の誕生から死に至るまでの生涯過程を周囲他者との関係の中で捉えるという枠組みの中で、個別具体的な人や家族に生じたある出来事がある人や家族の生活にどのような意味をもつかを掘り下げるといふ広義の臨床的立場に立って研究を進めている。養育、保育、障害児教育などの場での人々の生の営みを関与観察し、それを「主体の育ち」という観点からエピソード記述にまとめて表現するという方法を取っている。</p>
	<p>みず の り え 水 野 里 恵</p>	<p>乳幼児期の子どもの社会化過程について、発達初期の子どもの気質が母親の心理面やしつけ方略とどのように影響し合うかの観点から実験的観察法・調査法を使用した縦断研究を行ってきた。現在は、発達初期の子どもの気質的個人差を要因に組み込み、自己制御行動の発達過程に焦点を当てた研究を展開している。また、同胞集団でのモラル、一般他者に対するモラルがどのように発達していくかの観点から青年期・成人期に焦点を当てた研究も行っている。</p>
	<p>こ じま やす お 小 島 康 生</p>	<p>家族発達心理学が専門。子どもの誕生や成長に応じて家族関係や親の心理・行動がどのように変化していくかを観察法や質問紙法、面接法などにより調査してきた。最近では、家族ダイナミクスに関する文脈横断的な観察研究に関心がある。また、行政やNPO団体と連携しながら地域に根ざした子育て支援活動を展開することにも力を注いでいる。</p>

# 卷末書類



# 志 願 書

心理学 研究科		専攻	※	
課 程 (○で囲む)	博士前期課程(修士課程)・博士後期課程		志 望 する 専 門 領 域	実験心理学( )・応用心理学( ) 臨床心理学( )・発達心理学( ) 同一専攻であれば二つまで選択できる。 1領域のみならば○を、2領域いずれでもよいとする場合は志望順位1・2を( )内に記入する。 ただし、博士前期課程(修士課程)の場合、臨床心理学領域への受け入れは第1志望の者に限る。
試験区分	一 般 選 抜			
氏 名	フリガナ		受 験 する 外 国 語	
	1 9 年 月 日 生 歳 男・女			
現 住 所 (連絡先)	〒		国 籍	外国人のみ国籍を記入
	TEL( ) -			
帰 省 先	〒		写 真 貼 付 欄 注) 3か月以内に撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm	
履 歴 事 項	年 ・ 月	事項〔学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)または卒業(修了)見込まで記入、職歴も記入〕		
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
推 薦 書				
	推薦者職・氏名 <span style="float: right;">㊟</span>			

①※印欄は記入しないでください。  
 ②推薦書記入者は、博士前期課程(修士課程)出願者においては出身大学の学部長または指導教員、博士後期課程においては出身大学院の研究科長または指導教員を原則とする。中京大学出身者の場合、推薦書は必要としないが、推薦者職、氏名欄に学部在学中のゼミ教員名(押印不要)を記入のこと。

氏名 \_\_\_\_\_

入  
学  
後  
の  
研  
究  
計  
画  
案

注：博士前期課程（修士課程）出願者のみ記入してください。

博士後期課程出願者は別紙により研究計画書を提出することになっていますので記入不要です。



# 志 願 書

心 理 学 研 究 科		専 攻	※	
課 程	博士前期課程(修士課程)		志 望 する 専 門 領 域	実験心理学( )・応用心理学( ) 臨床心理学( )・発達心理学( ) 同一専攻であれば二つまで選択できる。 1 領域のみならば○を、2 領域いずれでもよいとする場合は志望順位1・2を( )内に記入する。 ただし、博士前期課程(修士課程)の場合、臨床心理学領域への受け入れは第1志望の者に限る。
試験区分	社 会 人 選 抜			
氏 名	フリガナ		受 験 する 外 国 語	英 語
	1 9 年 月 日 生 歳 男・女			
現 住 所 (連絡先)	〒		国 籍	外国人のみ国籍を記入
	TEL( ) -			
帰 省 先	〒		国 籍	外国人のみ国籍を記入
	TEL( ) -			
履 歴 事 項	年 ・ 月	事項 [学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)または卒業(修了)見込まで記入、職歴も記入]		
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			

※印欄は記入しないでください。

写真貼付欄  
注) 3か月以内に撮影したもの  
注) 縦4cm×横3cm

氏名 \_\_\_\_\_

修士論文または 卒業論文の題目	
--------------------	--

注：博士前期課程(修士課程)修了者は修士論文について、学部卒業者で卒業論文を作成した者は卒業論文について、その題目を記入してください。

入 学 後 の 研 究 計 画 案	研究題目：
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----
	-----

中京大学大学院

外国人留学生志願者用

※

## 身元保証書

中京大学長 殿

フリガナ  
学生氏名 (漢字)

学生氏名 (ローマ字)

生年月日 (西暦) 19 年 月 日 年齢 国籍

私は上記の者が中京大学大学院外国人留学生として日本に在留中、責任をもって下記事項を保証いたします。

1. 本人が学業に専念するよう監督すること
2. 本人が学費、生活費、帰国旅費および医療費を支払えない時の経済的負担
3. 本人が日本国法令上関係するあらゆる場合の身元引き受け

保証人氏名

現住所

電話 ( ) -

職業 (詳細に)

年収 (税込み)

本人との関係

日付

署名

印







**入試に関する問い合わせ**

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2

**中京大学 教学部学事課**  
**TEL(052)835-7180**

**受付時間**

平日 9:00~16:00  
土曜日 9:00~12:00